

# 「地域包括システムにおける保険薬局薬剤師の在宅業務の実態調査」

## 研究内容およびアンケート調査についてのご説明

2023年2月15日作成 第2版

### 1. はじめに

この説明文書は、あなたに私たちが予定している研究への参加について説明する文書です。この説明文書をよく読み、説明をお聞きになり、この研究に参加されるかをあなたご自身で決めてください。ご不明な点があれば、どんなことでも質問してください。なお、アンケートにご回答いただくことによる不利益は一切ありません。

### 2. 研究の目的および意義

地域包括ケアシステムの構築の進捗に伴い、医療依存度の高い患者の在宅移行率の増加、在宅患者の背景や薬物治療の多様化が予想されます。保険薬局・薬剤師は、医師をはじめとする医療関係者・医療機関・介護施設などと連携をとりながら、有効な薬物療法の実践をサポートする役割を担うことが求められています。在宅医療において薬剤師が医薬品の適正使用や有効な薬物療法の実施に貢献するためには、患者や患者家族・他職種との情報共有と情報提供が不可欠であり、他職種や医療機関との連携体制の構築・強化が必要であり、重要となります。

そこで、現在の在宅薬剤師業務の実施状況、業務内容や実施方法、他職種や患者様との連携方法等について情報を収集し、現状の課題や問題点の抽出を行い、その解析結果を基に、在宅業務の効率的実施や他職種連携の体制の整備や強化を目的として、支援方法の提案や支援システムの構築を検討することと致しました。

### 3. 研究の方法

この研究に同意いただいた場合、Google フォームを利用した Web アンケートにご回答頂きます。時間は20分程度です。

### 4. 参加について

この研究への参加は、たとえお断りになっても不利益を受けることはありません。一方で、一度、回答データを送信いただくと、個人が特定できないため、同意の撤回ができません（回答途中であればいつでも中断・中止をしていただけます）。

### 4. 研究に関する事項

この研究の結果は、学会や医学雑誌等で発表される予定です。その際にはあなたのことが特定されるようなことはありません。研究に参加していただいたことによる謝礼はございません。

### 6. お問い合わせ先・相談窓口

この研究について、わからないこと、相談したいことがありましたら、以下までご連絡ください。

大阪大学大学院薬学研究科実践薬学教育研究センター

研究責任者：大石美奈子

連絡先：06-6879-8239